

学習指導要領		都立桜町高等学校 学カスタンダード
<p>A 話 す こ と ・ 聞 く こ と</p>	<p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにするこ</p>	<p>幅広く調べた内容を整理して自分の考えをもち、客観的な根拠に基づいて話すことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会問題などについて、調べたり取材したりした内容を基に、自分の考えをもつことができる。</li> <li>・論拠に基づき、反論を想定しながら自分の考えを話すことができる。</li> </ul> <p>目的や場に応じて、資料などを用いながら、分かりやすく適切な言葉で話したり、要点を押さえて聞き取ったりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告や発表などで、何のために誰に向かって話すのかを考えて、必要に応じて資料などを用いながら言葉を選んで話すことができる。</li> <li>・報告や発表などで、要点を押さえながら、話し手の主張を聞き取ることができる。</li> </ul> <p>相手の立場を理解し、相手の考えを踏まえて自分の考えを説明し、司会者や提案者などの役割に応じて円滑に話し合うことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ討議などで、相手と自分の考えの共通点や相違点をとらえ、相手の考えの根拠を理解し、自分の考えに生かすことができる。</li> <li>・司会者や提案者などの役割に応じて、話し合いが円滑に進むように、話の構成や展開、言葉遣いなどを考えて話すことができる。</li> </ul> <p>自己評価や相互評価を自分の話し方や言葉遣いに生かし、話し手の多様な思いや考えに気付くことができる。</p>

学習指導要領		都立桜町高等学校 学カスタンダード
<p>と。</p> <p>B 書くこと</p>	<p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p>	<p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や目的、場に応じた言葉遣い、態度、論の構成・展開の仕方など、自己や他者の良い点・直すべき点を指摘し、それぞれに込められた思いや考えに気付くことができる。</li> </ul> <p>誰に向かって何のために書くのかを考え、自らその目的に応じた題材や文章の形態を選び、それにふさわしい文体や語句を用いて書くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身の体験や考えたこと、身の回りのことなどから目的に応じて題材を選び、材料を収集したり選択したりすることができる。</li> <li>・常体と敬体を相手や目的に応じて使い分けることができる。</li> <li>・複数の語句や言い回しの中から題材や文章の形態にふさわしいものを選択することができる。</li> </ul>
	<p>イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。</p>	<p>論理の構成や展開の仕方について理解し、論拠に基づいて自分の考えを文章にすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「序論一本論結論」、「頭括型・尾括型・双括型」などの文章の組み立て方や進め方を取り入れて、600～800字程度の文章を書くことができる。</li> <li>・反論を想定しながら、論拠に基づいて自分の考えをまとめることができる。</li> </ul>
	<p>ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p>	<p>説明や描写を使い分けるなど、相手や目的、場に応じた適切な表現の仕方を書くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事実や事柄などを正確に説明したり、手順や理由などを論理的に説明したりすることができる。</li> <li>・情景や人物、心情などを、表現技法などを用いて、読み手が想像しやすいように描写することができる。</li> </ul>

学習指導要領		都立桜町高等学校 学カスタンダード
<p>エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p> <p>C 読 む こ と</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p>	<p>きる。</p> <p>自他の文章への評価を通して、自分の表現に生かし、書き手の多様な思いや考えに気付くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発想の豊かさや論の構成・展開の仕方など、良い点・直すべき点を指摘することができる。</li> </ul> <p>【現代文】</p> <p>文章のそれぞれの形態における表現技法や語句の使い方の工夫などに注意しながら読むことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比喩法を理解し、文章中の比喩について説明できる。</li> <li>・小説の表現や韻文のリズムを、音読・暗唱などを通して味わうことができる。</li> </ul> <p>【古典】</p> <p>量・難易度とも中程度の文章について、文章の形態の違いを理解し、表現技法や語句の使い方の工夫をとらえて読むことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p><b>古文</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文節や単語など区切りに注意して音読することができる。</li> <li>・物語・随筆・日記・和歌などの違いを理解して、それぞれの作品を読むことができる。</li> </ul> <p><b>漢文</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文の基本的なきまりに従って音読することができる。</li> <li>・詩の形態や押韻、対句を指摘することができる。</li> </ul> <p>【現代文】</p> <p>文脈をとらえ、語句や表現に注意しながら、筆者の考えなどを読み取ったり、指定された字数で要約したりすることができる。</p>	

学習指導要領	都立桜町高等学校 学カスタンダード
<p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p>	<p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章中のキーワード、キーセンテンスを筆者の主張との関係で指摘することができる。</li> <li>・文章中の指示語の内容や接続詞の働きを理解して読むことができる。</li> <li>・筆者の主張を抜き出して各段落を要約したり、指定された条件に従って全体を要約したりすることができる。</li> </ul> <p>【古典】</p> <p>量・難易度とも中程度の文章について、主要な文語のきまりや訓読のきまりに注意しながら、語句や表現に即して読み取ることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p><b>古文</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用言・助動詞、基本的な助詞・敬語、係り結び、和歌の修辞などを理解して、文章を読み取ることができる。</li> </ul> <p><b>漢文</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訓点や再読文字、基本的な置き字・句法について理解して、文章を読み取ることができる。</li> </ul> <p>【現代文】</p> <p>登場人物の行動や性格、心情の変化、ものの見方、感じ方、考え方をとらえることができる。</p> <p>情景描写から心情を読み取ることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>芥川龍之介『羅生門』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の言動や、心情とその変化を読み取り、説明できる。</li> <li>・比喩表現などから状況や心情をとらえて説明できる。</li> </ul> <p>【古典】</p> <p>量・難易度とも中程度の文章の場面や人物を押さえ、行動や心情を読み取ることができる。</p>

学習指導要領	都立桜町高等学校 学カスタンダード
<p>エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p> <p>オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>	<p>《具体的な設定例》</p> <p>古文</p> <p>『伊勢物語』『芥川』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人物（行動や心情）、情景（場面、状況、風景）、出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。</li> <li>・和歌に込められた男の心情を理解する。</li> </ul> <p>漢文</p> <p>杜甫「春望」などで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・描かれた人物、場面、時代や場所、状況、出来事、情景を読み取ることができる。</li> <li>・「白頭搔更短」のような間接的な表現に込められた作者の心情を理解する。</li> </ul> <p>様々な文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について、その効果を指摘したり、書き手の主張や目的をとらえたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各段落の働きを理解し、段落相互の関係を読み取ったり、「序論・本論・結論」などの文章の組み立てを指摘したりすることができる。</li> <li>・情景や心情の変化をたどり、作品全体の筋をとらえて説明できる。</li> <li>・用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・<sup>④</sup>比喩などの表現技法を説明できる。</li> <li>・書き手の主張や意図を読み取ることができる。</li> </ul> <p>様々な形態・内容・分野の本や文章を読み、そこから得た情報を評価し、目的に応じて活用したり、自分の考えを深めたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な形態や幅広い内容・分野の本や文章を、書</li> </ul>

学習指導要領	都立桜町高等学校 学カスタンダード
<p>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項            (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項            (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p>	<p>店や図書館だけでなく、ウェブページなど幅広い方法で入手し、読むことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読んだ本や文章から、必要な情報を読み取り、目的に応じて活用することができる。</li> <li>・読んだ文章を評価することを通して、文章に表れた書き手の多様な思いや考えに気付くことができる。</li> </ul> <p>日本の伝統的な言語文化について主要な事柄を知り、また外国の文化の影響を理解する。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌の朗詠・贈答の慣習、三大集、歌物語などについて理解する。</li> <li>・主要な古典知識（月の異名、十二支、古時刻・古方位、年中行事）や価値観（結婚観や宗教観など）について理解する。</li> <li>・中国の文字や書物の影響のうち主要なもの（故事成語、漢詩など）について理解する。</li> </ul> <p>主要な文語のきまり、訓読のきまりを理解し、文章の音読や読解を行うことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的仮名遣い、用言の活用、助動詞・基本的な助詞（「ば」など）の意味・用法、係り結び、敬語、和歌の修辞などを理解する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訓点や再読文字、基本的な置き字・句法について理解し、訓読したり書き下し文に改めたりすることができる。</li> </ul> <p>【現代文】            語句、語彙の構造的な仕組みとしての成り立ちに</p>

学習指導要領	都立桜町高等学校 学カスタンダード
<p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p>	<p>ついて主要な事柄を理解し、また、他の言語との比較から明らかになる表現の特色や、社会における言語の役割について主要な事柄を認識し、活用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熟語の構成における主述関係や修飾、被修飾の関係などを説明できる。</li> <li>・和語、漢語、外来語の区別やそれぞれの語感の違い、具体的な使われ方などを理解する。</li> </ul> <p>・言語の主要な機能を理解し、それが個人や対人的な領域だけでなく、社会的な領域で表現されていることを理解する。</p> <p><b>【古典】</b></p> <p>言葉の歴史的な成り立ちと変遷、語彙の歴史的な経緯について主要な事柄を知る。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的仮名遣いを理解して古文を正しく読み、表記したりすることができる。</li> <li>・主要な古今異義語（あはれなり、おどろく、ののしるなど）の意味の違いを知る。</li> </ul> <p><b>【現代文】</b></p> <p>文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて主要な事柄を知り、活用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文の成分を理解し、照応関係に注意して文を書くことができる。</li> <li>・難易度が中程度の文章の段落構成を理解し、また、それを意識して文章を書くことができる。</li> <li>・難易度が中程度の文章について、語句の意味・用法を理解し、また適切に用いることができる。</li> <li>・説明的文章に使用される語句のうち主要なもの（相対、抽象、エゴイズム、グローバルなど）の意味を理解する。</li> </ul> <p><b>【古典】</b></p> <p>古語辞典や漢和辞典を活用し、基本的な古語や漢語の意味を理解する。</p>

学習指導要領	都立桜町高等学校 学カスタンダード
<p>ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>	<p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・基本的な古語（おぼえ、ながむ、あさまし、いかで など）80 語程度の意味を理解する。</li><li>・基本的な漢語（豈、被、耳、況、已など）40 語程度の意味を理解する。</li></ul> <p>常用漢字の大体を読み、学年別漢字配当表の漢字1006 字を含む1600 字程度を書くことができ、文や文章の中で使うことができる。</p>

教科：国語 科目：国語総合

学習指導要領		都立〇〇高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察</p>	<p>世界諸地域の生活・文化及び地球的課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を深めるとともに、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 地球儀や地図からとらえる現代世界</p> <p>地球儀と世界地図との比較、様々な世界地図の読図などを通して、地理的技能を身に付けさせるとともに、方位や時差、日本の位置と領域、国家間の結び付きなどについてとらえさせる。</p>	<p>[位置、方位、時差]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球儀や世界地図を活用して、東京の対蹠点の位置を理解するとともに、地軸の傾きによる季節変化や回帰線・極圏について理解する。</li> <li>日付変更線やサマータイム制度について理解し、それらを含めた時差の計算ができる。</li> </ul> <p>[地球儀、世界地図]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メルカトル図法やミラー図法、正距方位図法、ホモロサイン図法などの図法の特徴を理解し、用途に応じて適切な図法を使用することができる。</li> </ul> <p>[日本の位置と領域]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国境には自然的国境や人為的国境があることを理解する。また、日本固有の領土である北方領土問題と竹島、尖閣諸島の現状について歴史的経緯を踏まえて理解する。</li> </ul> <p>[国家間の結び付き]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主題図と統計を活用して加工貿易や垂直・水平貿易、国際分業などについて理解する。</li> <li>年次の異なる主題図や統計を活用して交通の発達による地域の変容や観光による国際的な人々の結び付きについて理解する。</li> </ul>



学習指導要領		都立〇〇高校 学カスタンダード
<p>(2) 生活圏の諸課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 日常生活と結び付いた地図 身の回りにある様々な地図の収集や地形図の読図、目的や用途に適した地図の作成などを通して、地理的技能を身に付けさせる。</p> <p>イ 自然環境と防災 我が国の自然環境の特色と自然災害とのかかわりについて理解させるとともに、国内にみられる自然災害の事例を取り上げ、地域性を踏まえた対応が大切であることなどについて考察させる。</p>	<p>・地球的諸課題を解決する方向性について、その背景に南北問題が存在することを理解するとともに、地球的課題の解決に向けて、例えば日常生活において取り組むべき課題などを理解する。</p> <p>[身の回りにある地図の収集と地形図の読図]</p> <p>・市街図、道路地図、観光案内図などの身の回りにある様々な地図を収集し、その特徴を理解する。</p> <p>・地形図において、縮尺を用いて実際の距離や等高線から任意の地点間の標高差を求めたり、尾根と谷を見分けたりすることができる。土地利用と人間生活のかかわりを理解するとともに、同じ地域の新旧の地形図を比較することで、地域の変容を理解する。</p> <p>[主題図の作成]</p> <p>・土地利用図や階級区分図、図形表現図やイラストマップを活用することができる。地理情報システム（GIS）の活用例を理解する。</p> <p>[我が国の自然環境の特色と自然災害]</p> <p>・我が国の地形、気候の特色と過去に発生した主な自然災害について理解するとともに、過去の自然災害への対応について土地利用、集落の位置や家屋の形状などから理解する。</p> <p>[自然災害と防災]</p> <p>・生活圏の自然環境について理解し、ハザードマップを読み取り、自然災害の危険性について理解する。</p> <p>[課題解決のための地域調査]</p> <p>・地域調査の方法として直接現地で行う方法と学校の図</p>	

学習指導要領	都立〇〇高校 学カスタンダード
<p>ウ 生活圏の地理的な諸課題と地域調査</p> <p>生活圏の地理的な諸課題を地域調査やその結果の地図化などによってとらえ、その解決に向けた取組などについて探究する活動を通して、日常生活と結び付いた地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>	<p>書館などで文献や資料を利用する方法を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査結果を、図表、地図などで表現する適切な方法を選択できる。</li> </ul>

学習指導要領		桜町高校 学力スタンダード
<p>(1) 数と式</p> <p>ア 数と集合 (ア) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>(イ) 集合 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用すること。</p> <p>イ 式 (ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p>	<p>・ 数を実数まで拡張する意義や有理数、無理数の違いを理解し、様々な無理数の四則計算ができる。</p> <p>(例)① <math>\frac{\sqrt{5} + \sqrt{2}}{\sqrt{5} - \sqrt{2}}</math> の分母の有理化する。</p> <p>② <math>x = \frac{\sqrt{5} + \sqrt{3}}{2}, y = \frac{\sqrt{5} - \sqrt{2}}{2}</math> のとき、<math>x^2 + y^2</math>、<math>x^3 + y^3</math> の式の値を求める。</p> <p>③ 方程式 <math> 2x - 3  = 1</math> を解く。</p> <p>・ 集合に関する概念を理解し、2つの集合の関係や3つの集合に関しても共通部分、和集合、補集合などが考察できる。</p> <p>・ ド・モルガンの法則を理解できる。</p> <p>(例)① 全体集合 <math>U = \{1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9\}</math> の部分集合 <math>A, B</math> について <math>\overline{A \cap B} = \{1, 9\}</math>、<math>A \cap B = \{2\}</math> <math>\overline{A} \cap B = \{4, 6, 8\}</math> であるとき、次の集合を求める。 (1) <math>A \cup B</math> (2) <math>A</math> (3) <math>B</math></p> <p>・ 指数法則を理解し、2次・3次の展開公式、因数分解公式を利用できる。</p> <p>・ 展開と因数分解の関係に着目し、因数分解の検算に展開を利用する態度がある。</p> <p>・ 因数分解を行うのに文字の置き換えや適切な形に処理することによって複雑な因数分解ができる。</p> <p>(例)① <math>(a^2 + b^2)(a + b)(a - b)</math> を展開する。</p> <p>② <math>x^4 - 8x^2 - 9</math> を因数分解する。 また、求めた式を展開して元の式と一致することを確かめる。</p>	

学習指導要領		桜町高校 学カスタンダード
(2) 図形の計量	<p>(イ) 一次不等式</p> <p>不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不等式における解の意味を理解し、1次不等式や連立不等式の解を、数直線上を用いて表示できる。</li> <li>・ 身近な問題を1次不等式の問題に帰着させることができ、問題を解くことができる。</li> </ul> <p>(例)①次の連立不等式を解く。</p> $\begin{cases} 3x + 8 > 4x - 3 \\ 2(3x + 1) > x - 2 \end{cases}$ <p>②次の不等式を満たす最小の自然数nを求める。</p> $200 + 12(n - 10) \leq 15n$ <p>③1個 60 円の品物Aと1個 100 円の品物Bを合わせて10個買い、100 円の箱に詰めてもらう。品物代と箱代の合計金額を 4000 円以下にすると、品物Bは最大何個買えるか。</p>
	<p>ア 三角比</p> <p>(ア) 鋭角の三角比</p> <p>鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。</p> <p>(イ) 鈍角の三角比</p> <p>三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三角比の意味や性質を理解し、直角三角形辺の長さを三角比で表す式を理解し、応用問題に利用できる。</li> </ul> <p>(例) 木の根元から水平に 9 m離れた地点に立って木の先端を見上げると、水平面とのなす角が <math>35^\circ</math> であった。目の高さを 1.6mとして、木の高さを求める。ただし、小数第2位を四捨五入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 座標を用いた三角比の定義を理解し、<math>360^\circ</math> までの三角比を考察できる。</li> <li>・ 拡張された三角比の相互関係を理解し、利用できる。</li> </ul> <p>(例)① <math>0^\circ \leq \theta \leq 360^\circ</math> とする。</p> $\sin \theta = \frac{\sqrt{7}}{4} \text{ のとき、} \cos \theta, \tan \theta \text{ を求める。}$ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三角比を含む対称式・交代式の値を求めることができる。</li> </ul> <p>(例) <math>0^\circ \leq \theta \leq 360^\circ</math> とする。</p> $\sin \theta + \cos \theta = \frac{1}{2} \text{ のとき、} \sin \theta \cos \theta \text{ の値を求める。}$

学習指導要領		桜町高校 学力スタンダード
<p>(ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正弦定理、余弦定理を利用して、三角形の残りの辺の長さ、角の大きさを求めることができる。</li> <li>正弦定理を <math>a : b : c = \sin A : \sin B : \sin C</math> として利用できる。</li> </ul> <p>(例)①△ABC において、<math>a = 2, b = \sqrt{3} + 1, C = 60^\circ</math> のとき、残りの辺の長さや角の大きさを求める。 ②△ABC において、次の式が成り立つとき、A の大きさを求める。 <math>\sin A : \sin B : \sin C = 7 : 5 : 3</math></p>	
<p>イ 図形の計量 三角比を平面図形や空間図形の考察に活用すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角比を用いた三角形の面積公式を理解し、決定条件である2辺とその間の角または3辺から求めることができる。</li> </ul> <p>(例)3辺の長さが <math>a = 3, b = 6, c = 7</math> の三角形の面積を求める。</p>	
<p>(3) 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平方完成を利用して2次関数のグラフの軸と頂点を調べ、グラフを書くことができる。</li> <li>2次関数の平行移動や対称性について理解を深めようとする。</li> </ul> <p>(例)①2次関数 <math>y = 3x^2 - 6x - 2</math> の頂点の座標と軸の方程式、y軸との交点を求め、グラフの概形を描く。 ②放物線 <math>y = x^2 + 2x + 2</math> を平行移動して放物線 <math>y = x^2 - 6x + 11</math> に重ねるには、どのように平行移動すればよいか。</p>	
<p>イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次関数の定義域に制限がある場合に、最大値・最小値が求められる。また、最大・最小の応用問題に2次関数を利用できる。</li> <li>2次関数の決定において、条件を処理するのに適した式の形を使い分けられることができる。</li> </ul> <p>(例)①1辺が10cmの正方形ABCDにそれより小さい正方形EFGHを内接させる。正方形EFGHの面積を <math>y \text{ m}^2</math> とするとき、<math>y</math> の最小値を求める。 ②2次関数のグラフが3点(1,5)、(2,1)、(3,-7)を通るとき、その2次関数を求める。</p>	

学習指導要領		桜町高校 学カスタンダード
<p>(イ) 二次方程式・二次不等式 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解するとともに、数量の関係を二次不等式で表し二次関数のグラフを利用してその解を求めること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>2次方程式の解と2次関数のx軸との交点との関係を理解し、因数分解・解の公式を利用して解くことができる。</li> <li>2次関数のグラフとx軸との共有点の個数や位置関係を判別式の符号から考察することができる。</li> </ul> <p>(例)① 2次関数 <math>y = -3x^2 + x + 1</math> のグラフとx軸の共有点の座標を求める。 ② 2次関数 <math>y = x^2 + x + m</math> のグラフがx軸に接するとき、定数mの値を求める。また、そのときの接点の座標を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2次不等式の解と2次関数の値の符号を相互に関連させて考察できる。2次不等式をグラフを利用して解くことができる。</li> <li>身近な問題を2次不等式の問題に帰着させることができ、問題を解くことができる。</li> </ul> <p>(例)① 2次不等式 <math>x^2 + 2mx + m + 2 &gt; 0</math> の解がすべての実数であるとき、定数mの値を求める。 ② 周の長さが20mで、縦の長さが横の長さ以下の長方形の囲いを作る。囲いの面積を21 m<sup>2</sup>以上にするには、縦の長さをどのような範囲にとればよいか。</p>
<p>(4) データの分析</p> <p>ア データの散らばり 四分位偏差、分散及び標準偏差等の意味について理解し、それらを用いてデータの傾向を把握し、説明する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>範囲の定義や四分位範囲の定義の意味を理解し、それを求め、データの散らばりを比較することができる。</li> </ul> <p>(例) 次のデータは、ある年のA市とB市における月ごとの降水日数である。このデータの範囲、四分範囲を求める。また、データの散らばりの度合いが大きいのは、A市、B市どちらか。</p> <p style="margin-left: 40px;">A市：7, 4, 9, 7, 10, 13, 14, 7, 4, 12, 13, 5 B市：19, 16, 12, 11, 6, 8, 21, 13, 10, 14, 18, 22</p>
<p>イ データの相関 散布図や相関係数の意味を理解し、それらを用いて二つのデータの相関を把握し説明すること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>相関係数の定義とその意味を理解し、相関係数は散布図の特徴を数値化したものであることを理解している。</li> </ul> <p>(例) 10人の生徒に10点満点の2種類のテストA, Bを行った結果である。テストA, Bの得点の相関係数を求め、どのような相関関係があると考えられるか。</p> <p style="margin-left: 40px;">テストA：8, 9, 6, 2, 10, 3, 8, 4, 1, 9 テストB：2, 2, 5, 5, 2, 5, 4, 4, 7, 4</p>

教科：数 学 科目：数学 I

作成様式

学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
<p>(1) 生物と遺伝子</p>	<p>ア 生物の特徴</p> <p>(ア) 生物の共通性と多様性 生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解すること。</p> <p>(イ) 細胞とエネルギー 生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解すること。</p> <p>イ 遺伝子とその働き</p> <p>(ア) 遺伝情報とDNA 遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解すること。</p> <p>(イ) 遺伝情報の分配 DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解すること。</p> <p>(ウ) 遺伝情報とタンパク質の合成 DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の共通性と多様性の具体例を挙げることができる。</li> <li>・原核生物と真核生物の大きさと構造上の違いを理解する。</li>   <li>・ATPでエネルギーが出入りする仕組みについて理解する。</li> <li>・酵素の触媒としての働きを理解する。</li> <li>・呼吸と光合成の反応過程における物質の出入りとATP合成を理解する。</li> <li>・ミトコンドリアと葉緑体が細胞内共生によるものであることを理解する。</li>   <li>・DNAの塩基配列が遺伝情報になることを理解する。</li> <li>・ヌクレオチドの構造とDNAの塩基の相補性について理解する。</li> <li>・遺伝子とゲノムの関係について理解する。</li>   <li>・細胞周期はDNAの複製と分配の繰り返しであることを理解する。</li> <li>・体細胞分裂時に染色体が分離することで、DNAが均等に娘細胞に分配されることを理解する。</li> <li>・遺伝情報の転写と翻訳を理解する。</li>   <li>・生体内で働くタンパク質の例を挙げ、多様な生命現象を支えていることを理解する。</li> <li>・細胞によって働いている遺伝子が異なることを理解する。</li> </ul>

学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
<p>(2) 生物の体内環境の維持</p>	<p>ア 生物の体内環境</p> <p>(ア) 体内環境 体内環境が保たれていることを理解すること。</p> <p>(イ) 体内環境の維持の仕組み 体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解すること。</p> <p>(ウ) 免疫 免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血液・リンパ液・組織液は常に循環・移動し、互いに関係しながら体内環境を一定の状態に保っていることを理解する。</li> <li>・血液の生成場所、各血球と血しょうの働きについて理解する。</li> <li>・血液の体循環・肺循環について理解する。</li> <li>・肝臓・腎臓の構造と機能について理解する。</li> <li>・血液凝固反応の仕組みについて理解する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交感神経・副交感神経の違いについて理解する。</li> <li>・ホルモンによる調節の仕組みを理解する。</li> <li>・自律神経系と内分泌系（ホルモン）がともに働くことによって、血糖濃度が調節されていることを理解する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体液性免疫と細胞性免疫での細胞の働きについて理解する。</li> <li>・予防接種と血清療法の違いについて理解する。</li> <li>・アレルギーやエイズの発症する仕組みについて理解する。</li> </ul>

学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
<p>(3) 生物の多様性と生態系</p>	<p>ア 植生の多様性と分布</p> <p>(ア) 植生と遷移 陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解すること。</p> <p>(イ) 気候とバイオーム 気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解すること。</p> <p>イ 生態系とその保全</p> <p>(ア) 生態系と物質循環 生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解すること。</p> <p>(イ) 生態系のバランスと保全 生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植生の違いは、光や土壌、気温、降水量などの要因によることを理解する。</li> <li>・遷移のモデル的過程を具体的な種名とともに理解する。</li> <li>・土壌形成などの生物の環境形成作用が遷移と深く関係していることを理解する。</li>   <li>・地球上には気温と降水量に応じて様々なバイオームが存在していることを理解する。</li> <li>・世界のバイオームの特徴を具体的な種名とともに理解する。</li>   <li>・生態系では、光合成・呼吸・食物連鎖・有機物の分解作用などの生命活動によって炭素や窒素が循環し、再利用されていることを理解する。</li> <li>・生態系で生物が利用するエネルギーの大部分は、太陽の光エネルギーに由来することを理解する。</li>   <li>・生態系のバランスを維持する仕組みがあることを理解する。</li> <li>・外来生物の移入や森林の乱伐など人間の活動によって生態系が攪乱された例を理解し、生態系の保全の重要性を知る。</li> </ul>

教科：理 科 科目：生物基礎

作成様式

学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
聞くこと	ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相づちを打ったり、繰り返しや説明を求めたり、言い換えて確認したりするなどして、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。</li> <li>・聞き取れない単語や未知の語句があっても、つながりを示す語句（according to, as a result, however, in other words, on the other hand など）に注意しながら、内容を推測するなどして聞き続けることができる。</li> <li>・事物に対する紹介や対話などを聞いて、箇条書きでメモを取るなどして情報を整理したり、展開を予想したりするなどして、聞き続けることができる。</li> <li>・複数の段落のまとまった長さの文章について、情報や考え、事実と意見を区別し、整理しながら聞くことができる。</li> <li>・英語による説明や意見を聞いて理解することができる。</li> <li>・場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話し手の意図を把握し、質問や指示などに適切に応じることができる。</li> <li>・リズムやイントネーションなどに表れる話し手の意図や気持ちを捉え、音のつながりや欠落に注意して的確に聞くことができる。</li> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動を深めていくために必要な文化的背景について理解する。</li> </ul>
読むこと	イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自発的に英和辞典を活用しながら、300語程度以上の教科書の文章を読んで、概要や要点を捉えることができる。</li> <li>・教科書の文章を読んで、文中に未知の語句があっても、論理展開を考えて、推測しながら読み続けることができる。</li> <li>・教科書の文章の単語の発音及び文章のリズムやイントネーションに気を付けて、聞き手に的確に伝わるように明瞭に音読することができる。</li> <li>・教科書の文章全体を、適切な速度と音量で音読することができる。</li> <li>・教科書の文章を読んで、つながりを示す語句の知識に注意しながら、英語の論理展開を理解する。</li> </ul>

学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
話すこと	<p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書及びサイドリーダーなどの文章を読んで、事実と意見などを区別して内容を理解し、自分なりの意見や感想を論理的に英語で交換することができる。</li> <li>・教科書の文章の段落の中で、トピック・センテンスとサポーティング・センテンスの関係を理解し、各段落の役割と文章全体の流れを理解する。</li> <li>・抽象的な内容（例えば言語の多様性、生命倫理など）を含む文章を読み取るための語句や、文法事項を理解する。</li> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動を深めていくために必要な文化的背景について理解する。</li> <li>・英字新聞やインターネットを活用し、必要な情報を読み取ることができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・300 語程度以上の教科書の文章の内容を理解した後に、英語の質問を聞いて、根拠を示しながら文章で答えることができる。</li> <li>・教科書で扱った内容について、既習の語句や表現を応用して、ワークシートやメモなどを活用しながら、その概要を英語で相手に伝えることができる。</li> <li>・ペアやグループで、幅広い話題について、学んだことや経験したことに基づき、根拠を示しながら話し合ったり意見を交換したりすることができる。</li> <li>・うまく言えないことがあっても、既習の語句や表現を効果的に用いて、情報や考えを相手に伝えることができる。</li> <li>・単語の発音に気を付けながら、場面や状況、相手の反応などを踏まえて、適切なリズムやイントネーションを用い、十分な声の大きさ、適切な速度で積極的に話すことができる。</li> <li>・話し合いや発表で必要となる語句や表現、文法事項を身に付けている。</li> <li>・新聞記事やニュースなどの情報に基づき、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。</li> <li>・事実と意見などを区別して、既習の表現を効果的に</li> </ul>

学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
書くこと	<p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p>	<p>用いて論理的に話すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「話すこと」の言語活動を深めていくために必要な文化的背景について理解する。</li> <li>・既習の語句や表現、文法事項を活用して、間違うことを恐れずに、学んだことや経験したことに基づき、幅広い話題について60語程度の文章を書くことができる。</li> <li>・教科書の文章について、パートごとに、4～5文程度の要約文を書くことができる。</li> <li>・教科書の文章や、聞いたり読んだりした内容について、60語程度で感想や意見を書くことができる。</li> <li>・トピック・センテンスやサポーティング・センテンスの構成を考え、つながりを示す語句を適切に用いながら、論理の展開が明確な文章を書くことができる。</li> <li>・手紙や電子メールの書き方などの知識を身に付け、意見交換したり、話をまとめたりすることができる。</li> <li>・事実と意見などを区別して、既習の表現を適切に用いて論理的に書くことができる。</li> <li>・自分で書いた文章を読み直し、表現の曖昧さをなくしたり、語句や文法などの誤りを正したりして、論点が明確で、読み手に分かりやすい文章を書くことができる。</li> <li>・うまく表現できないことがあっても、既習の語句や表現を効果的に用いて書くことができる。</li> <li>・必要に応じて英和辞書などを活用して書く。</li> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動を深めていくために必要な文化的背景について理解する。</li> </ul>

